

超純水技術を核に、グローバル展開を加速 水が持つ無限の可能性を未来の技術革新へ

昨今の先進技術を象徴するEVやスマホなどに使われている半導体やフラットパネルディスプレイ。その製造工程において、様々な薬液や付着物の洗浄に必要不可欠なのが超純水の存在だ。超純水とは、不純物が限りなくゼロに近い精製水で、その純度は技術の発展とともに高度化している。

かつては「50リットルに角砂糖一個程度の不純物」などと例えられた超純水だが、今では「ドーム球場一杯の水に醤油一滴程度の不純物でもNG」というほどにまで

技術レベルは進化しているという。こうした超純水製造において、世界でもトップクラスの技術を提供する野村マイクロ・サイエンス株式会社は、半導体の黎明期から研究・分析を共に進めながら業界を牽引してきた。

80年代にはいち早く韓国市場へ進出し、海外事業の拡大を図った同社。時代を先駆ける形で研鑽を進めながら、その技術力は半導体需要の加速と相俟って高く評価された。

で技術レベルは進化しているという。

こうした超純水製造において、世界でもトップクラスの技術を提供する野村マイクロ・サイエンス株式会社は、半導体の黎明期から研究・分析を共に進めながら業界を牽引してきた。

80年代にはいち早く韓国市場へ進出し、海外事業の拡大を図った同社。時代を先駆ける形で研鑽を進めながら、その技術力は半導体需要の加速と相俟って高く評価された。

つながっていることは想像に難くない。かつて技術系の社員たちが一歩踏み出し、営業に向いた経験を共にした千田会長は、何よりも「誠実な対応」を第一にしてきた。

「技術はあくまで人のために高められて来たもので、私たちは技術によって人の役に立つサービスを提供しなくてはならない。そのためには様々な立場の人たちと話をすることが大切で、最も勉強になります」と話すのは、内田誠社長



千田 豊作 会長



内田 誠 社長

「自動運転や社会インフラ、さらには生成AIなど、インターネットを超えるようなイノベーションが控え

「自動運転や社会インフラ、さらには生成AIなど、インターネットを超えるようなイノベーションが控え

「自動運転や社会インフラ、さらには生成AIなど、インターネットを超えるようなイノベーションが控え



超微量分析で水質を管理

「技術はあくまで人のために高められて来たもので、私たちは技術によって人の役に立つサービスを提供しなくてはならない。そのためには様々な立場の人たちと話をすることが大切で、最も勉強になります」と話すのは、内田誠社長

【会社データ】

本社 神奈川県厚木市岡田二丁目9番10号
TEL 046-228-3946
設立 1969年4月
資本金 22億3680万円
(東証プライム上場証券コード: 6254)
連結売上高 495億9583万円 (23年3月期)
事業内容 超純水・純水装置のエンジニアリング等

https://www.nomura-nms.co.jp